天馬㈱の会社概要

別紙－１

本社　　東京都北区赤羽 1-63-6　　設立　　1949 年（昭和 24 年）

資本金　192 億円　　東証１部上場　　監査等委員会設置会社　（内部監査部４名）

従業員　連結：7,276 名　単体：639 名（2020 年３月末）（自己資本比率 78%超・借入金０の高収益企業）

売上高　連結：857.6 億円　単体：227.1 億円（2020 年３月期）（連結売上高の約７割は海外の工業品事業）

事業内容：プラスティック製品（家庭用品、自動車部品、OA 機器部品、メディアケース、資材他）の製造･販売

子会社：国内３社、海外 11 社・12 工場（上海・蘇州・中山・深圳、ベトナム３、タイ２、インドネシア３）

会計監査人：有限責任あずさ監査法人（2020 年３月期連結監査証明業務 83 百万円、KPMG の連結子会社監査 16 百万円）　（2020 年６月より監査法人ハイビスカスに変更）

取引銀行：三井住友銀行、りそな銀行、三井住友信託銀行

創業者及び歴代代表取締役：４兄弟（①金田忠雄、②金田保彦、神田哲民、③司　治）が 1949 年に創業し、①から③までの代表取締役が歴任し、2014 年に３代目の司　治が代表取締役を退任し名誉会長となり、創業者が離れ、次世代の金田保一（②金田保彦の子）が代表取締役会長になり、社長は住友銀行出身者から２代にわたり招聘。2016 年に天馬生え抜きの藤野兼人が６代目代表取締役社長に就任。2020 年６月の株主総会前の、司　久専務 57 歳（司　治名誉会長の子）、金田　宏常務 42 歳（金田保一会長の子）も創業者の一族。2020 年６月に、金田会長 75 歳、藤野社長 67 歳、司専務 57 歳は退任し、会社側と株主側の２つの取締役選任議案の決議結果を受けて、新社長となった廣野裕彦は生え抜きで、前執行役員開発部長の 50 歳。会社側としては金田宏を社長候補としていたようだが、株主総会で取締役選任案を否決されたもの。なお、司名誉会長 86 歳は 2020 年４月に第三者委員会の調査報告書を受けて、会社より名誉会長を解任されている。

役員区分の報酬額（2020 年３月期有報の 36ﾍﾟｰｼﾞ）：取締役（監査等委員、社外取締役除く６名）188 百万円（平均 31 百万円）、取締役（監査等委員で、社外取締役除く１名）3.3 百万円（2019 年４月~6 月の３か月分）社外取締役（３名）16.3 百万円（平均 5.4 百万円）

役員構成：　＜2020 年６月総会前＞　⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒　＜2020 年６月総会後＞

代表取締役会長	金田保一	（2014 年就任）		－	
代表取締役社長	藤野兼人	（2016 年就任）		代表取締役社長	廣野裕彦<新>＊
専務取締役	司　久	（2016 年就任）<資材部長･産業資材営業部長>		取締役	永井勇一<新>＊
常務取締役	尾身　昇	（2015 年就任）<生産･技術開発担当>		非常勤取締役	林　史朗<新>＊
常務取締役	金田　宏	（2019 年就任）<IR 担当･新規事業･総務部長>		社外取締役	倉橋博文<新>？
取締役	須藤隆志	（2019 年就任）<財務経理部長>		社外取締役	松山昌司<新>＊
取締役常勤監査等委員(社外)	北野治郎(2019 年就任)			社外取締役(常勤監査等委員)	北野治郎◎
取締役監査等委員(社外)	片岡義正(2015 年就任)			社外取締役(監査等委員)	片岡義正◎
取締役監査等委員(社外)	藤本潤一(2015 年就任)			社外取締役(監査等委員)	藤本潤一＊
<会長･社長派、反会長･社長派>			い	社外取締役(監査等委員)	菅　弘一<新>◎
合計９名(内社外３名、新任３名)				合計９名(内社外６名、新任６名)	

大株主の状況：<長男家＋四男家が手を組み次男家＋米ファンドに対抗>　　<＊？社長派、◎反社長派>

ダルトン・インベストメンツ・エルエルシー（米国）	保有割合　13.19%	＊	(林史朗はＧ会社の代表取締役)
株式会社カネダ興産(創業者長男①家、金田久代取)	12.08%	●	
有限会社ピー・ケー・ファイナンス(次男②家、金田保一代取)	10.00%	＊	
株式会社ツカサ・エンタープライズ(四男③家、司久代取)	8.18%	●	注：●合計約 24.4%＝
金田保一（創業者次男②の子、天馬の前会長）	3.32%	＊	株主提案の賛成者
司　治　（創業者四男③、天馬の前名誉会長）	3.28%	●	＊合計約 26.5%＝
司　久・司須美子（創業者四男③の子ほか）	0.83%	●	会社提案の賛成者